

はしがき

竹久夢二

青空文庫

少年達のため挿絵をかきながら、物語の方も自分でかいて見ようと思立おもいたって、その頃ころまだ私の手許てもとから小学校へ通っていた子供をめやすにかいたのが巻頭の数篇です。中学へ通うようになった時、「誰だれがいつどこで何をした？」をかいて見せました。これはフィリップがお手本になったのですが、「都の眼め」の留とめ吉きちにしても「たどんの與よた太たさん」の與太郎にしても、みんな私自身の少年の姿です。「日輪ひまわり草そう」の熊くまさんも私の姿に違いありません。

出だあとの方のお話は、雑誌の挿絵にそえたもので、少年の頃見たり聞いたりした話を思おもい出してかいたのです。

姉妹篇「凧たこ」に対して「春」という一字を撰えらんだのです。「春」という字は音ほがらが朗かです。字画が好もしいため、本の名にしたわけです。

(千九百二十六年十月)

青空文庫情報

底本：「童話集 春」小学館文庫、小学館

2004（平成16）年8月1日初版第1刷発行

底本の親本：「童話 春」研究社

1926（大正15）年12月

入力：noir

校正：noriko saito

2006年7月2日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

はしがき

竹久夢二

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>